

第 学年 組 国語科学習指導案

平成18年 月 日 ()
指導者

1 単元名・教材名

表現の実践4「説明文を書く 学校案内の作成」(第一学習社「国語総合」)

2 本単元の意図

「書くこと」の指導は、「相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えて書くこと」の指導と「論理的な構成を工夫して、自分の考えを文章にまとめること」の指導に大別されるが、今回は前者に焦点をあて、来春に高校入学を控えた中学三年生向けの学校案内(高校の特長・行事・施設等に関する文章)を、現役の高校生に作成させることとする。書いた文章が学校案内に利用されることで、生徒の取り組む意欲は当然高まっていくと思われる。また、この学校案内は高校生活を生徒の視点で観察・分析し、高校をアピールしていく方向性を持っている。そのため、この単元における学習を通じて、何のために(目的)誰にどのような立場で書くのか(場に応じた表現)を生徒自身が意識し、身につけていくことが期待できる。なお、この単元では、中学校2、3年の既習事項である「広い範囲から課題を見付け、必要な材料を集め、自分のものの見方や考え方を深めること」をふまえた上で、さらに効果的な表現を考えて文章を作成することをねらいとする。

3 単元の目標

- (1) 積極的に情報を収集し、整理して書こうとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 相手や目的に応じて題材を選び、必要な情報を、簡潔に、適切な順序に整理して書くことができる。(書く能力)
- (3) 目的や場に応じた表現を理解するとともに、豊かな語彙を身に付けている。(知識・理解)

4 単元の評価規準と学習活動における具体的評価規準

	関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
単元の評価規準	・目的や場に応じて言葉遣いや文体など表現を工夫したり、様々な表現についてその効果を吟味し文章表現や推敲に役立てたりして、文章にまとめようとしている。	・書くために必要な情報を収集、整理し、目的や場に応じて言葉遣いや文体など表現を工夫して書いている。	・場面に応じて語句、語彙、表現を適切に用いることができる。
学習活動	①文章を書くとき、目的や相手に応じた言葉遣いや表現となっているかを常に確かめながら書こうとしている。	①目的に応じた題材を選択し、相手に応じた用語や待遇表現の選択など言葉遣いを工夫している。	①主な常用漢字について、文脈に応じた適切な使い方を身に付けている。 ②語句や表現についての意味や用

に お け る 具 体 の 評 価 規 準	②話し合いをするとき、相手の考えなどに配慮しながら自分の考えを相手に伝えたり、話を聞いたりしようとしている。	②収集した情報の内容を的確に分析し、適切に整理している。 ③文章をまとめるとき、文章の構成や様々な表現の効果について分析、検討して書かれている。	法を的確に理解し、場面に応じて適切に用いることができる。
---	--	---	------------------------------

5 指導と評価の計画（全 6 時間）

時	主な学習活動・学習内容	評価規準・評価方法
1	（１）導入 既存のキャッチコピーなどから、効果的な言葉の使い方を学ぶ。 ・ワークシート①を用いて、雑誌の見出し、商品・店舗のキャッチコピーを例示し、それが、対象物について興味を持たせたり、内容や特徴を端的に表現したものであることを確認する。 ・ワークシート①を用いて、見出し、キャッチコピーを考える際に必要なことは何か、考察する。 （２）本単元の学習内容の確認 ・ワークシート②を用いて、「学校案内」の目的・対象者および学校案内を作るために必要なことについて確認する。 ・１０人ごとのグループを作り、「学校案内」の内容を５分野に分けて２人ずつの分担を決める。 ・ワークシート②を用いて、作成する学校案内の形式を確認し、内容を検討する。（２００字×２）	◎【関心・意欲・態度】の①② ○キャッチコピーがどういった目的で作られているか気づくことができる。（ワークシートの考察） ○優れたキャッチコピーがもたらす効果に気づくことができる。（ワークシートの考察） ○話し合いを円滑に行い、「学校案内」に必要な情報をまとめることができる。（生徒の観察）
2	（３）四字熟語について ・ワークシート③を用いて、四字熟語についての理解を深める。 （４）インタビュー（アンケート）の準備 ・案内の題材を集めるため、その分野に通じる人にインタビューまたはアンケートを行うことを指示する。 ・ワークシート④を用いて、インタビュー・アンケートで質問する項目を記入する。	◎【書く能力】の① 【知識・理解】の② ○「学校案内」に適した情報が集められるように質問項目を設定

	・インタビュー・アンケートを行う。 (状況によって、次時までの課題とする。)	できる。(ワークシートの考察) ○インタビューのために、相手に 応じた用語や言葉遣いを工夫で きる。(生徒の観察)
3	(5) 説明文の理解 ・ワークシート⑤を用いて、説明文の概要を確認する。 ・ワークシート⑤を用いて、「主題提示・具体的説明・結 び」など、説明文の構成について確認する。 (6) 学校案内の題材選び ・ワークシート⑥を用いて、インタビュー・アンケートで 集めた情報をまとめ、案内文に利用できる情報を選び取 る。	◎【書く能力】の② ○説明文の目的・効果的な表現を 分析することができる。(ワー クシートの考察) ○情報の内容について、正誤・適 否などについて適切に選び取る ことができる。(ワークシート の考察・生徒の観察)
4	(7) 案内文の下書き ・ワークシート⑥を用いて、選び取った情報を説明文にす る。 ・自らの表現について推敲を重ね、より効果的な表現がで きているか確認する。 ・ワークシート⑦を用いて、自ら作成した「学校案内」を より効果的にするための見出しを考える。その際、既存 の四字熟語などを参考にする。	◎【書く能力】の②③ 【知識・理解】の①② ○説明文における適切な表現や語 を用いて必要な情報を述べるこ とができる。(生徒の観察) ○目的に応じた効果的な表現・情 報を選択整理できる。(生徒の 観察) ○選んだ見出しについての意味や 効果を考察し、まとめることが できる。(ワークシートの考察)
5	(8) 案内文の清書 ・ワークシート⑧を用いて、案内文の清書をする。 ・必要に応じて、イラストや、写真などを使い、より効果 的な案内文を作る。	◎【書く能力】の③ ○全体の構成や表現の効果に留意 して案内文を書くことができる。
6	(9) 本単元の結果を共有する。 ・ワークシート⑨を用いて、グループ内でそれぞれが作成 した「学校案内」を読み、自己評価・相互評価をする。 ・その際、お互いの「学校案内」の効果的な表現を指摘し、 積極的に評価するよう留意する。	◎書く能力の③ ○自らの表現およびお互いの表現 を客観的に批評することができる。 (生徒の観察) ○効果的な説明文について総合的 な考察ができる。(ワークシー トの考察・生徒の観察)

6 本時の学習指導（本時 3 / 6 時間）

（1）目標

中学生を対象とした学校案内の作成において、適切な題材を選び、必要な情報を収集・分析し、まとめることができる。

（2）評価規準

関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
・相手や目的に応じて題材を選び、自分の考えを文章にまとめたり効果的な表現を考えて書いたりしようとしている。	・相手や目的に応じて題材を選び、収集した情報を的確に分析し、適切に整理している。	・文や文章の組み立て、語句の意味、用法および表記などを理解し、語彙を豊かに身に付けている。

（3）展開

前時の学習内容	・言語事項の確認 ・インタビューやアンケートの質問事項を検討（実際のインタビューやアンケートは課題）
---------	---

学 習 活 動	学 習 内 容 ●既習事項	指導・援助と評価の創意工夫	分
1 前時の学習内容及び本時の学習活動を確認する。			20
2 「主題提示・具体的説明・結び」という説明文の形式について理解する。	●説明文の三段落構成の理解	○教科書 P186 により、説明文の概要を説明する。 ○ワークシート⑤を用いながら「説明文」の書き方を説明する。その際、例文を用いて三段落構成についての生徒の理解を援助する。	10
3 インタビュー・アンケートで集めた情報を数人に発表させ、確認する。	○収集した情報の発表	○前時までの課題としたインタビュー・アンケートの結果を手に入れることができたか確認する。 ○情報を得ていない生徒に対しては、実際の学校案内を示し、個別に助言を与える。	20
4 中学生に伝えたいことは何かを見つけ、箇条書きで書き出す。	○情報の整理	○ワークシート⑥を用いながら、伝えたいことを明確にする。	
5 収集した情報の中から学校案内を作成する上で必要な情報を選択し、箇条書きで書き出す。	○情報の整理	○1 グループの収集した情報を板書して、それをもとに情報の選び方の例を示す。 ○ワークシート⑥を用いながら、中学生が知りたい情報（目的にふさわし	

		い題材)を選ぶ。 評価の場面 〈具体的な評価規準〉 【書く能力】の② 〈評価方法〉 ワークシートの考察・生徒の観察 〈CからBへの手立て〉 ○適宜巡回指導を行い、効果的な題材を選んでいるか点検をする。題材を選べない生徒には、他者の考えを参考にさせたり、具体的な助言を与えたりする。	
--	--	--	--

次時の学習内容	効果的な表現を考えながら案内文の下書きを作る。
---------	-------------------------

〇〇〇高校普通科学学校案内を作ろう ～ワークシート①～

氏名

【説明文を理解する】

教科書 P 186

「説明文」とは

文章のこと

「説明文」の書き方

①

②

例

○古文の基礎知識がある人にはすぐに理解できる説明文

「もの申しさぶらはん。おどろかせたまへ。」という文は、「もの申しさぶらわん。おどろかせたまえ。」と読む。

○古文の基礎知識がない人に必要な説明文

古文を読む場合には、次のことに注意する必要がある。語中、語尾の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は原則として「わ・い・う・え・お」と読む。

したがって、「もの申しさぶらはん。おどろかせたまへ。」という文は、「もの申しさぶらわん。おどろかせたまえ。」と読む。

◎「普通科学学校案内」の対象者は

◎「普通科学学校案内」を書くときに注意すべき点

③

〇〇〇高校普通科学校案内を作ろう

～ワークシート③～

氏名

【必要な情報を収集する】

項目

自分の体験からわかること・基本的な事柄→自分で調べる

自分ではわからないこと・他の人の意見が知りたいこと
→詳しく知っている人から情報収集する

	内容	取材必要の有無	取材対象者	取材方法
例	普通科の生徒に期待すること	有	校長先生	アンケート
①				
②				

◎ 取材の注意点

- ・ 聞きたい事柄を事前によく考える
- ・ インタビューを行う時、アンケートを依頼する時は言葉遣いに注意する
失礼のない態度・敬語の使用
- ・ インタビューはメモを取りながら話を聞く
(いつ、どこで、誰が、何を、どのように)
聞き漏らしがないかどうかを確認

◎ 質問事項の検討

ポイント 中学生が聞きたいことを代わりに質問するつもりで考える

→自分が進学・就職をする時に何を知りたいか

氏名

〈4 本時の検討事項〉

① 自分が紹介したい項目を考える



二人組になろう



項目分担の決定

二人で以下のことを相談しよう

② 内容の検討（今日のポイント）→5
2人で4つの内容を決める

・中学生が知りたいことは何か

・〇〇〇高校、普通科を知っても
らうために必要なことは何か

③ 取材対象者の検討

・その情報を得るためには誰に何を質問したらよいか

→詳しくは次の時間に考える

〈5 内容の検討〉

二人で話し合いながら、考えたことをメモしよう

ペアの友達

項目

- ・〇〇〇高校、普通科の何について紹介したいか
- ・中学生が知りたいことは何か

内容を4つに絞ろう

〈6 二人で話し合ったことをまとめる〉

項目

内容

「〇〇〇高校普通科学学校案内」を作ろう ～ワークシート②

氏名

〈1 確認事項〉①「学校案内」の目的

②「学校案内」の対象者

③中学生が入学をしたくなる学校案内を作るために必要なこと

〈2 約束事項〉①1つの項目を2人で担当する

②1人200字の説明文を2つ書く

インタビュー等を取り入れた文章とする

③各項目に四字熟語で見出しをつける

(2人で相談)

④中学生が入学をしたくなるものを作る

〈3 学校案内に載せる項目、内容、インタビュー・アンケートの対象者〉

項目	内容例(☆は必ず入れる内容)	インタビュー・アンケートの対象者
普通科の授業	☆普通科の特長 ☆学習科目、内容 ・授業中の様子 ・教室の様子 ・担当の先生紹介 ・クラスの友達紹介 ・人気授業紹介	・校長先生、教頭先生、()先生(学校全般) ・教科担当の先生 ・クラスの友達
学校行事	☆行事紹介 中学校にはない行事 おもしろかった行事 ・委員会活動紹介 頑張っていること	・行事担当の先生 文化祭関係・・・()先生、()先生、()先生 体育関係・・・()先生、()先生 ・クラスの委員 ・クラスの友達
部活動	☆部活動紹介 伝統のある部 活動の盛んな部 中学校にはない部 進修館高校ならではの部 ・部員、顧問の先生の声	・各部員、顧問の先生 ・クラスの友達
校内施設	・校内マップ ・お気に入りの場所紹介 ・特色のある施設紹介	・各施設を管理する先生 ・食堂の方 ・業務さん ・クラスの友達
制服	☆制服紹介 着こなしのポイント ☆東行田駅から学校までの道順説明	・行田在住の先生、友達 ・お店の方
周辺地図	・学校周辺マップ ・行田の名所、名物 ・寄り道、穴場、お気に入りのお店情報	・クラスの友達

〇〇〇高校普通科学学校案内を作ろう

～ワークシート③の2～

氏名

【アンケート（記述式）・インタビュー用紙】

◎アンケート・インタビュー対象者

国語総合の授業で普通科の学校案内を作成するために、以下の事柄についての情報を集めたいと考えています。

お忙しい中申し訳ありませんが、御協力をお願い致します。

◎質問事項と回答記入欄

月 日（ ）に回収に伺います。よろしくお願い致します。

〇〇〇高校普通科学学校案内を作ろう ～ワークシート④～

氏名

【相手に的確に伝えるための文章構成】

言葉による説明

視覚による説明

主題提示	全体像や基本的事項を述べる 40字程度
具体的説明	具体的説明をする 他者の視点も意識し、客観的に書く 100～120字程度
結び	要約したり、意見・感想を述べる 40～50字程度

+

表、地図、絵などを利用して、正確にわかりやすく伝える

例 「国語総合」 についての200字説明文

主題提示	国語総合は高校1年で週に4時間学びます。内容は現代文、古文、漢文です。
具体的説明	現代文では近代以降に書かれた作品を読みます。『羅生門』は人間のエゴイズムについて深く考えた心に残る作品です。 また、古文や漢文では作品を通して時代を超えて通じ合う人間の思いを理解して欲しいと先生はおっしゃいます。
結び	国語総合では、中学校の国語よりも幅広く深く学び、自分の心を豊かにすることができます。

〇〇〇高校普通科学学校案内を作ろう

～ワークシート⑤～

氏名

【必要な情報を選択する】

項目

内容

1 自分の知っている情報、インタビュー・アンケート結果から得た情報から必要な情報を選択する

◎ 中学生に一番伝えたいことは何か（箇条書き）

◎ そのために必要な情報は何か（箇条書き）

〈注意点〉

主題提示

具体的説明で入れる情報は多くとも3つまでとする（テーマを絞る）

具体的説明

他の説明文で書く内容と重複しないようにする

一文は短く、簡潔明快にする

結び

2 200字原稿用紙 横書き （下書き用）

主題提示																			
具体的説明																			
結び																			

*原稿用紙の使い方のきまりに従うこと

*構成方法はワークシート④「相手に伝えるための文章構成」を復習

〇〇〇高校普通科学学校案内を作ろう

～ワークシート⑥～

【四字熟語に親しもう】

次の熟語の（ ）内の数字を合計するといくつになるか。

- ① （ ） 獲（ ） 金 + 傍目（ ） 目 =
 ② （ ） 石（ ） 鳥 + （ ） 部始終 =
 ③ （ ） 期（ ） 会 + （ ） 網打尽 =
 ④ （ ） 目瞭然 + （ ） 日（ ） 秋 =

次の熟語の読みを平仮名で書き、意味を後から選りなさい。

		読み	意味
①	十人十色		
②	馬耳東風		
③	傍若無人		
④	切磋琢磨		
⑤	天変地異		
⑥	支離滅裂		

- ア 人前を恐れずに勝手な行動を取ること
 イ 物事を心にとどめないこと
 ウ 暴風、地震など自然の災害のこと
 エ 考え方は人それぞれで違うこと
 オ ばらばらで筋が通らないこと
 カ お互いに才能や実力を磨きあうこと

〇〇〇高校普通科学学校案内を作ろう ～ワークシート⑦～

氏名

【効果的な見出しを考える】

項目

◎四字熟語候補とその意味

四字熟語				意味

◎決定した四字熟語

この四字熟語の意味

これを選んだ理由、込めた意味

〇〇〇高校普通科学学校案内を作ろう ～ワークシート⑧～

氏名

【自分の作品、友達の商品の良点を探そう】

◎自己評価表

	評価項目	評価			
		できた	どちらかといえ ばできた	どちらかといえ ばできない	できない
1	中学生を意識して書けたか	4	3	2	1
2	見出しを工夫することができたか	4	3	2	1
3	説明文の構成方法を考えたか	4	3	2	1
4	絵や表は説明文をわかりやすくできたか	4	3	2	1
感想					

作成者 _____ 評価者 _____

◎相互評価表

	評価項目	評価			
		大変良い	良い	普通	頑張れ
1	中学生を意識して書けたか	4	3	2	1
2	見出しを工夫することができたか	4	3	2	1
3	説明文の構成方法を考えたか	4	3	2	1
4	絵や表は説明文をわかりやすくできたか	4	3	2	1
コメント					